

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | | 公表日 | | | 令和8年3月23日 | |
|--|----|----------------|-----|--|--|--|
| 葛飾区子ども発達センター | | 利用児童数 (施設数) | | | 13 回収数 10 (76.9%) | |
| チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 | |
| 1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。 | 10 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・悩み事を真剣に聞いてもらい、(助言を)実際に保育の中に取り入れることができた。 ・互いの様子を共有しながら実際に対応の仕方、関わり方を丁寧に教えてもらった。 ・保育中にお話しをする時間を設けるのが難しかったが、施設での様子は分かった。 ・頻繁に定期的に訪問があり、発達センターでの活動や様子がよく分かった。また、発達センターの職員とこまめにコミュニケーションが取れたことが良かった。 ・センターでも同様の姿があり、こういった言葉がけをしている等のアドバイスをくれる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後とも、具体的でわかりやすい助言や説明を心がけます。 | |
| 2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。 | 8 | 2 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・違う目線からの意見を聞くことで子どもに対しての接し方が広がった。 ・対象児に対して適度な距離感で寄り添うような関わりをしてきていたのが良かった。また、その中での関わり方を具体的に教えていただけたので、学びになった。 ・言語面でのアドバイスを頂けるとよかった。 ・対象児の保護者に対して、園では伝えきれない専門知識や福祉に関する情報を伝えてくれ、その事を共有してくれる。また、こちらの要望も踏まえて専門的に保護者に伝えてくれる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・訪問先施設との良好な関係を築きながら、専門性に基ついた助言ができるように、今後とも工夫・改善を行っていきます。 | |
| 3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。 | 8 | 2 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・質問をしたことには答えてくださり、ありがたかった。 ・とても丁寧に説明していただいた。 ・保育園と施設での姿の違いはあったが、どんな支援をしているのか分かった。 ・子どもの姿から、質問した際に適時ご返答いただけないことがあった。 ・後日、フィードバックとしてこちらの思いや考えを聞いた上で、その時々での対処の仕方など真摯に回答を頂いてる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・訪問時間に限りがあるため、適時・適切な回答に至らないこともあります。後日フィードバックを行うなど、訪問先施設の負担に配慮しながら対応していきます。 | |

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | | 公表日 | | | 令和8年3月23日 | |
|--|----|----------------|-----|--|---|--|
| 葛飾区子ども発達センター | | 利用児童数 (施設数) | | | 13 回収数 10 (76.9%) | |
| チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 | |
| 4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。 | 6 | 4 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> 参考になることも多かったが、疑問に思ふような意見もあった。 お子さん自身に関しては軽減したと思うが、保護者の対応を含めると難しかった。 来年度の課題は見えてきた。 訪問日に次の来所日を決めていたが、年間で事前にわかるとよい。 最近の姿での困り事や、担任保育士が判断つかなかった事を相談でき、アドバイスをもらうことができた。 保護者が対象児の就学先を迷われている時に、その子にとって良い方向性を専門的観点から保護者にアドバイスして頂いた。 保育園の様子を保護者に伝えてくださる事で、保護者からの信頼感につながった。 | <ul style="list-style-type: none"> 保育所等訪問支援は、申請者である保護者の不安やニーズを整理し、こどもの集団生活への適応に向けた支援を行うとともに、訪問先施設の職員等と連携しながら環境調整を行う取り組みです。 事業所の療法士が児童発達支援と保育所等訪問支援を兼務しているため、訪問予定を調整することが難しく、その都度調整を行っています。今後とも、訪問先施設に配慮しながら日程調整を行っていきます。 子ども発達センターでは月1回程度の訪問を基本としていますが、「頻繁に定期的に訪問があり良かった」という意見がある一方、「回数はもっと少なくても良い」という意見を頂いています。 このことを踏まえて、お子さんの発達や特性、保護者のニーズ、訪問先施設の受け入れを考慮しながら、訪問の頻度を調整していきます。 | |
| 5 事業所からの支援に満足していますか。 | 7 | 3 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> 悩み事や関わり方を共有できたことはとても良かった。 対象児だけでなく、そのほかの子に対しても適度な距離感で丁寧に関わっていただき遊びや活動に支障のないように配慮していただいた。 回数はもっと少なくても良いかと思う。 療育での姿と保育園での姿を共有することができ、本児への関わり方の参考にすることができた。 毎月対象児の姿を見に来てくれ、相互で対象児の様子を共有し成長した様子や今後の対応策などを話し合える環境が作られたのは満足している。 | <ul style="list-style-type: none"> 訪問先施設との良好な関係を築きながら、専門性に基づいた助言ができるように、今後とも工夫・改善を行っていきます。 | |
| 其他のご意見 | | | | ご意見を踏まえた対応 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 毎月の訪問は情報共有や同じ目線で関わることが多かったのととてもよかった。今後も引き続き行なっていただければと思う。 保育園はいつ来ていただいても忙しく、打ち合わせの時間が十分取れない事もあり、申し訳なかった。 園生活の職員の対応と発達センターでの職員の対応では、発達センターの方が、本児に対して年齢より低いコミュニケーション対応をしているように感じた。私たちは要配慮の子どもに対し、分かりやすい言葉を使ったりコミュニケーションを取っているが、年長という自覚は忘れないようにしている。接し方として、本児にはどうしたらいいのか疑問に思った。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 申請者である保護者から丁寧な聞き取りを行い、保護者の不安やニーズについて整理するとともに、訪問先施設からも、対象となるこどもの支援に関するニーズについて丁寧に聞き取りを行います。 訪問先施設が大事にしている理念や支援方法を尊重しながら、こどもの安全・安心な場づくり、集団生活への適応に向けた支援を行います。 | | |